

第1回 生活困窮者自立支援全国研究交流大会

新法を育てよう！ みんなで育てよう！



全国各地から西宮に向けて、熱い思いの詰まった2日間となりました。先駆者や応援団からの熱いメッセージに励まされ、自信を得た方も多いのではないのでしょうか。大会会期中の最後の発行となる速報第4号では、参加者や生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事からの声をお届けします。

この2日間、参加者の皆様には大会運営にご協力をいただきまして、ありがとうございました。第2回大会は、来年11月の2日間福岡県で開催します。来年は福岡でお会いしましょう！ 帰路、どうぞお気をつけてお帰りください。

参加者の声

孤立をつくらないためには、人々の感情に訴えるだけでなく、地域に学びの場が必要という言葉がとても印象に残りました。持ち帰って、地元で市民と一緒にこの問題を考える場を早速つくっていきたいと思います！（兵庫県 上崎良純さん）



参加者の声

「目の前で困っている、この人を何とか支援したい」と思っている1,000人を超えるさまざまな分野の方々が、全国から西宮に終結したということに感動しました。ひとりでも多くの方が、このネットワークに参加し、それぞれの実践を交流し、高め合っていくことが、新法を「武器」として社会的孤立のない地域づくり、社会づくりにつながっていくのだと思いました。そのキーワードは「For」ではなく「with」、そして「to」であると感じました。（滋賀県 奥村昭さん）

参加者の声

特別部会の委員の皆さんの語りは、実践を語らずとも、支援の本質やそこにかかる思いが伝わってきて、何度か鳥肌が立ち、目頭が熱くなりました。首長自らの報告にも、本気を感じました。とにかくこの大会は、登壇者・参加者ともに熱気がすごい！！変えていく、変わっていかなければと思いました。（大阪府 高橋俊行さん）

1日目参加者のアンケートより

モデル事業を3年実施してきましたが、新法施行にむけてよい勉強になりました。心強く感じました。

（山口県より参加）

内容がどの部分も濃くて、ここに集う人びとの熱を感じました。

（福岡県より参加）

生活困窮者が自立をめざすとき、まず社会に「参加」するこの一歩がたいせつだということ。ただ働くことでは問題は解決しないことが心に残りました。

（大阪府より参加）

これからを考えるディスカッション「官民挙げて、新法をどう育て、育ち合うか」



参加者の声

生活困窮者支援は、生活者の視点で取り組みを考えていかなければと改めて感じました。自立と尊厳、支援を通じた地域づくりという制度の目標に向けて、実践を評しあって、その目標をゆるぎないものとするために、私も実践を積み重ねていきたいと気持ちを引き締めています。

(東京都 北川裕士さん)

参加者の声

生活保護受給者や若者への支援、生活困窮者支援の根幹をこの大会で確かめられました。

今大会の参加者の多くは支援に関わる人でしたが、今後は、民生委員などの住民や、心ある企業など、応援する立ち位置の人たちにも参加してもらえるような大会に発展してほしいと思います。(兵庫県 伊藤剛さん)

参加者の声

分科会6「自立支援と住まい」に参加しました。居住を支えることについての議論は少なく、福祉との連携に課題を感じていましたが、こうした大会でテーマとして取り上げられたことが、大きな前進と感じています。

(京都府 藤村貴俊さん)

参加者の声

「農と社会起業」の分科会に参加し、産業としての農と社会的弱者がつながりはじめていることを感じました。実践者が密着し、連携するきっかけにするためにも、地方ごとの開催もぜひ企画してほしいです。(大分県 柿村優実さん)

2日間を終えて ～生活困窮者自立支援全国ネットワーク代表理事からのメッセージ～

●岡崎誠也さん（高知市長）

初日より、全国各地からの熱気を感じています。これを機会に、横のネットワークができて、良い取り組みが全国に広まり、活動が活発になることは間違いありません。各地でいろんなタイプの地域づくりが行われていますが、生活困窮者支援における人々を温かく包み込むようなネットワークづくりに期待しています。

●宮本太郎さん（中央大学教授）

生活困窮者自立支援全国ネットワークの設立総会は、この種の法人設立としては異例なことに、発起人以外のほか、大教室いっぱい的一般参加者に囲まれ、文字どおりその期待を受け止めながらの設立となりました。これは、このネットワークが多く強い関心を集めていることの象徴であり、二まわりも三まわりもネットワークを広げていく見通しと勇気を得ました。

●奥田知志さん（NPO 法人抱樸理事長）

熱気！一言で言えば、そんな2日間だった。「生活困窮者自立支援」、この困難な課題に自ら取り組もうとする人たちが1,000人も集まった。希望だと思う。経済においては格差と不安定労働が拡大し、地域においては孤立が進む。そんな不安定社会の中で安定したものを構築する。その第一が、信念に裏打ちされた自由でしなやかな人の存在だ。全国ネットはそのために発足した。もう一歩前へ！



昨日の設立総会の模様は、NHK NEWS WEB「生活困窮者を支援 全国ネットワーク設立」記事からご覧いただけます。

2日目の報告については、通信第5号として後日、生活困窮者自立支援全国ネットワークのホームページにアップします。<http://www.life-poor-support-japan.net/> をチェック！